

必ずお読み下さい データ制作概要

(ポストカード・QSLカード・ポスター・チラシ・カラー封筒・中綴じ 専用)

完全データとは

アドビ社のイラストレーターとフォトショップのみを用いて作成した完全データのことです。画像はフォトショップでEPSファイル形式とし、イラストレーター上で作成したデータにリンク配置します。またフォントはすべてアウトライン化してください。詳細は次の通りです。

1. 仕上りサイズ

仕上がりサイズにイラストレーターでトリムマークをいれてください。(塗り足し付ダブルトンボになります)

◆ポストカードサイズは、普通サイズ：148×100mm、大判サイズ：230×110mm、
Wサイズ：200×148mm・296×100mm

◆カラー封筒サイズの詳細は別紙「封筒専用 サイズの設定とトンボのつけ方」を参照してください。

※線幅をつけたままトリムマークを作成しない様にしてください。(線幅がついているとサイズが変わってしまいます)

2. 色の設定について

●印刷の刷色は

プロセス4色カラー (プロセスカラー:シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K))

●イラストレーターでの色の設定は

すべてプロセスカラーのシアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)で設定してください。

DIC、Pantone、スポットカラーのような特色を直接用いることはできません。必ずCMYKに変換してください。

ブラック100%を使用する際に、C・M・Y・K全てが100%となる4色ブラック・レジストレーションになっていないかよくご確認ください。

※インクが乾きにくいいため汚れてしまったり、版ズレにより細かい部分がつぶれてしまうなどの原因になります。

●フォトショップでの色の設定は

写真画像は、「CMYK」か「グレースケール(白黒)」か「モノクロ2階調」です。RGBカラー、Labカラーなどは使用しないでください。

※ポストカード・QSLカードで両面共に同じ写真画像を使用する場合には、Sタイプ・Pタイプですと写真面との色の差が出ますのでMタイプをご検討ください。

3. 指定アプリケーション

・ Adobe社製 Illustrator (Mac/Win) Photoshop (Mac/Win) ※必ず左記のアプリケーションで作成してください。

4. イラストレーターでの作成の注意点

●作成データは必ず使用しているVer.で保存してください

下位バージョンで保存する事でデータが変形、破損する場合があります。

●線は、線幅の設定を0.3pt以上にしてください

塗りの設定(ヘアライン)はしないでください。

●フチ文字等の角の比率が適切になっているかご注意ください

●オーバープリント設定の必要がないオブジェクトに設定しないようご注意ください

画面上は普通に見えますが、印刷すると背面の色と混ざって色が変わります。(『オーバープリントプレビュー』で確認できます)

●フォントは必ずアウトライン化をしてください

フォントは、アウトライン作成の可能なフォントを用い、データ作成終了時に必ずすべてのフォントをアウトライン化してください。

『フォントの孤立点』がないようにしてください。(『フォントの検索』で確認できます)

5. フォトショップでの作成の注意点

色のモードは「CMYK」か「グレースケール(白黒)」です。解像度は350pixels/inchです。「モノクロ2階調」は1200pixels/inch前後です。

◆グレースケールとモノクロ2階調について

どちらも白黒の画像データですが、グレースケールは階調をもっているのに対し、モノクロ2階調は白か黒かの2つの情報しかもっていません。モノクロ2階調の画像は、単色のマークやロゴ等に適しています。1200pixels/inch位の
高めの解像度で取り込めば、輪郭のくっきりした画像が得られます。

●配置する画像のサイズは必ず原寸サイズにしてください

イラストレーター上へ配置してから拡大縮小は行わないでください。

●傾きの調整(回転)も必ずフォトショップ上で行ってください

イラストレーター上で配置してから回転は行わないでください。

●10点以上画像のあるものは、フォトショップ上でひとつの画像ファイルにまとめてください【要確認】

6. 仕上りスペースいっぱいまで入る写真や色(対象:封筒以外)

仕上りよりも3mm外側にまで写真や色を延ばしてください。延ばした部分のことを塗り足し(断ちしろ)といいます。

塗り足しは、製品には入りませんが、印刷、断裁には必要な部分です。必ず設けてください。

7. スペースに完全に納めたい写真や文字(対象:封筒以外)

仕上りスペースに完全に納めたい写真や文字は、仕上りよりも3mm内側に入れてください。仕上りぎりぎりまで入れると、写真や文字が欠けたり不均一に入ったりします。

8. データの保存形式

●イラストレーターは「Illustrator形式」で保存してください

保存時のバージョンは使用アプリケーションのバージョンと同じにしてください。

オプションの「配置した画像を含む」にチェックはしないでください。(Illustrator7.0以降)

●フォトショップは「Photoshop EPS」形式で保存してください

EPS保存の際に画面に表示されるオプションは次のようにしてください。

カラー画像・グレースケールのプレビューは「TIFF 8bit/pixels」、モノクロ2階調は「TIFF 1bit/pixels」、DCSは「OFF (単一ファイル)」(Photoshop~4.0) エンコーディングは「バイナリ」。なお、Photoshop 5.0~は、ICCカラープロファイルの埋め込みを行わないでください。

9. データの入稿方法

イラストレーターデータとリンク配置した画像データと共に同一のフォルダに入れてください。2種類以上ある場合には、1種類につき1フォルダに入れ、メディアに保存してください。メディア(MO・CDなど)を複数用意する必要はありません。

◆ポストカード・QSLカードの場合

両面並んで納まるくらいの用紙を設定して、そこに両面を並べて作成してください。

2種類以上で片面が共通の内容の場合は、共通のデータは1つ分用意すれば良いです。その際に「写真面共通データ」というような名前を付けたフォルダに入れて、当社のオペレーターが分かるようにしておいてください。

※メディアに保存後、正しく保存できたかご確認ください。

10. チェックシートについて

「データ制作概要」・「データチェックシート」(裏面)に基づいて作成し、ご確認のうえ記入済みのデータチェックシートを同封してください。 ※当社ホームページも参考にしてください。【URL <http://www.op-onoue.co.jp>】

11. 出力見本について

当社で内容確認のため、最終出力見本(カラー)を同封して下さい

最終の完成データを出力し、それを出力見本としてください。出力後にデータを修正された場合は、再出力をしてください。

◆ポストカード・QSLカードの場合

出力見本は、表面と裏面の合わせを確認したうえで「仕上がり見本貼付用台紙」に貼ってください。

※出力見本の色と印刷物の色とでは発色の違いがあります。また、出力見本は色見本ではありませんのでご了承ください。

12. 多面付け(名刺サイズ・特殊サイズの場合)

普通サイズ(100×148mm)範囲内への2面付け、3面付け等は可能ですが、複数種の場合は表裏の組み合わせを間違わない為にそれぞれの違いを明記し、一つのカードの表裏を一つのフォルダに入れてください。

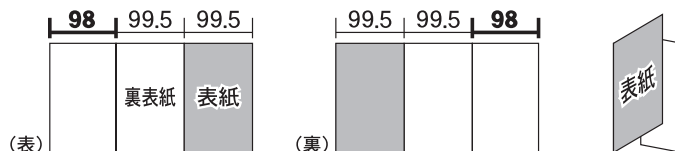
13. チラシの折加工について

◆台紙と寸法取りについて

下記は一部の台紙と寸法取りの例(単位:mm)になります。特殊な折加工については事前にご連絡ください。

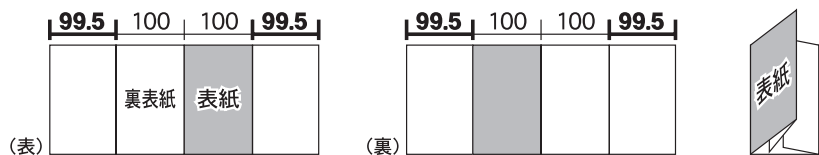
■巻3つ折

※きれいに折れる様に内側に巻込まれるサイズ幅を1.5mm短くします。



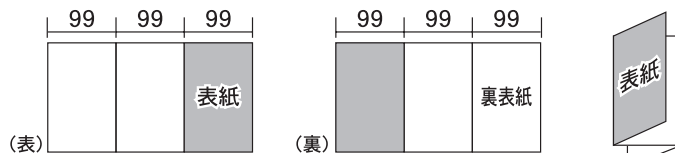
■両観音折

※きれいに折れる様に内側に巻込まれるサイズ幅を0.5mm短くします。
※表面、裏面、共に同じ寸法取りになります。



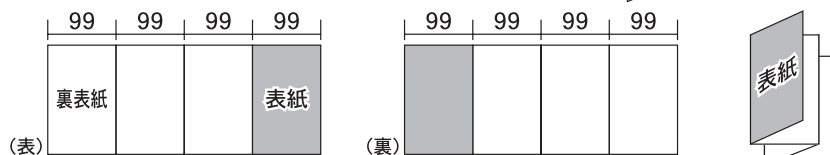
■経本3つ折(ジャバラ3つ折)

※表面、裏面、共に同じ寸法取りになります。



■経本4つ折(ジャバラ4つ折)

※表面、裏面、共に同じ寸法取りになります。



◆折トンボについて

折トンボは仕上がりから3mm離して、トリムマーク(ダブルトンボ)より外にはみ出さない様に作成する。

